

工事期間中はどれくらいの工事用車両が通行するのですか。

- 工事期間中の想定最大車両台数は以下の通りです。
- なお、これは最大時の値であり、これだけの車両が通る期間は限られます。また、工事の平準化等の環境保全措置を講ずることにより最大時の車両台数を更に低減していく考えです。

地点名	最大工事用車両台数 (台/日)	現況交通量 (台/日)
二軒小屋	478 (工事開始後7年目)	26
榎島	332 (工事開始後2年目)	94
井川	216 (工事開始後8年目)	536

工事期間中の想定最大車両台数

工事に使用する道路について整備等は行うのですか。

- 工事に使用する道路の整備等は下記のように計画しています。

【林道東俣線】

- ▷安全面と環境面から工事に必要と考えられる補修や安全設備の設置、舗装を実施します。詳細については関係箇所と打合せながら決めていきます。

(主な内容)

- ・擁壁、落石防護ネット、法面吹付の補修や取替え
- ・道路上に残された崩土の撤去
- ・ガードレールやカーブミラーの設置
- ・路面の舗装

【県道60号線】

- ▷関係箇所と打合せながら必要な安全対策を検討し実施します。

(安全対策の例)

- ・ガードレールやカーブミラーの設置
- ・通行時間帯の配慮
- ・誘導員の配置

※工事の開始にあたり、住民の皆様にご説明させて頂く予定です。

【県道27、189号線、市道閑蔵線】

- ▷どのルートをどのように活用するのも含めて関係箇所と打合せを行い、必要な安全対策を検討し実施します。

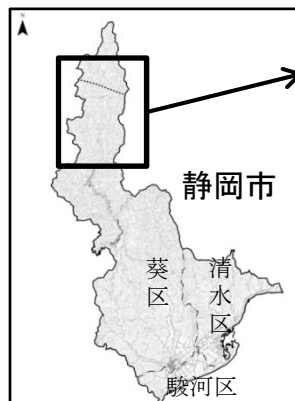
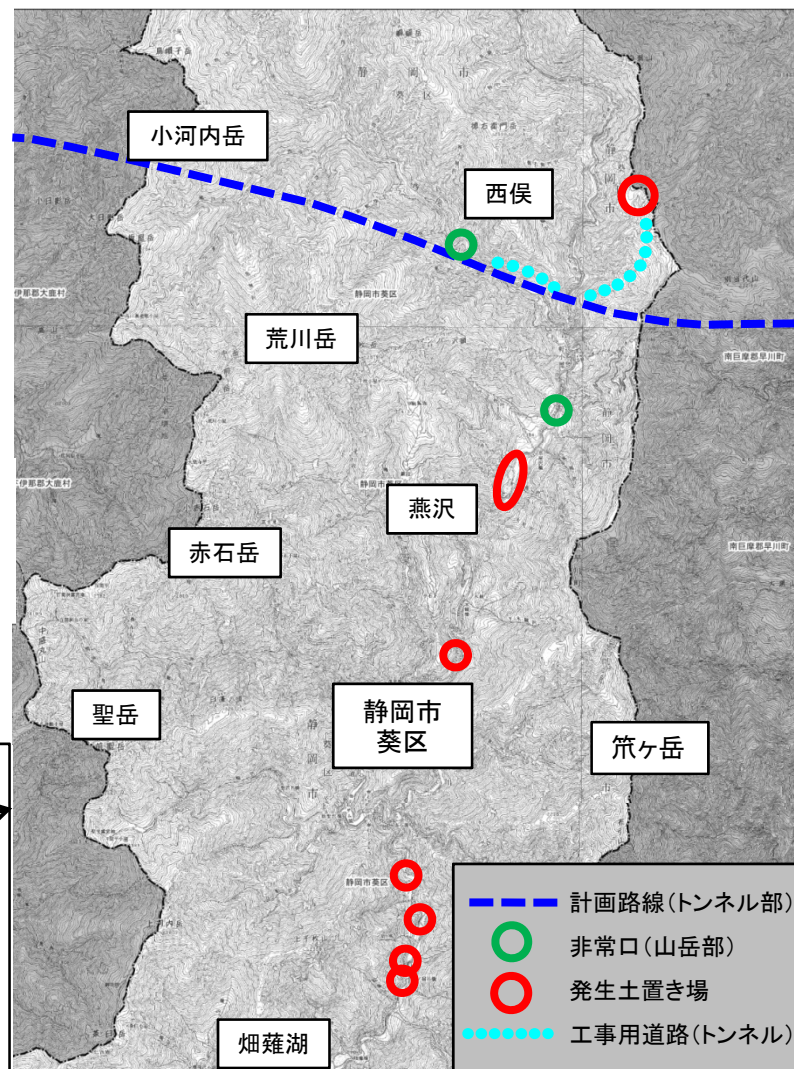
(安全対策の例)

- ・ガードレールやカーブミラーの設置
- ・通行時間帯の配慮
- ・行き違い用の拡幅部設置

※工事の開始にあたり、住民の皆様にご説明させて頂く予定です。

発生土置き場の詳細について教えてください。

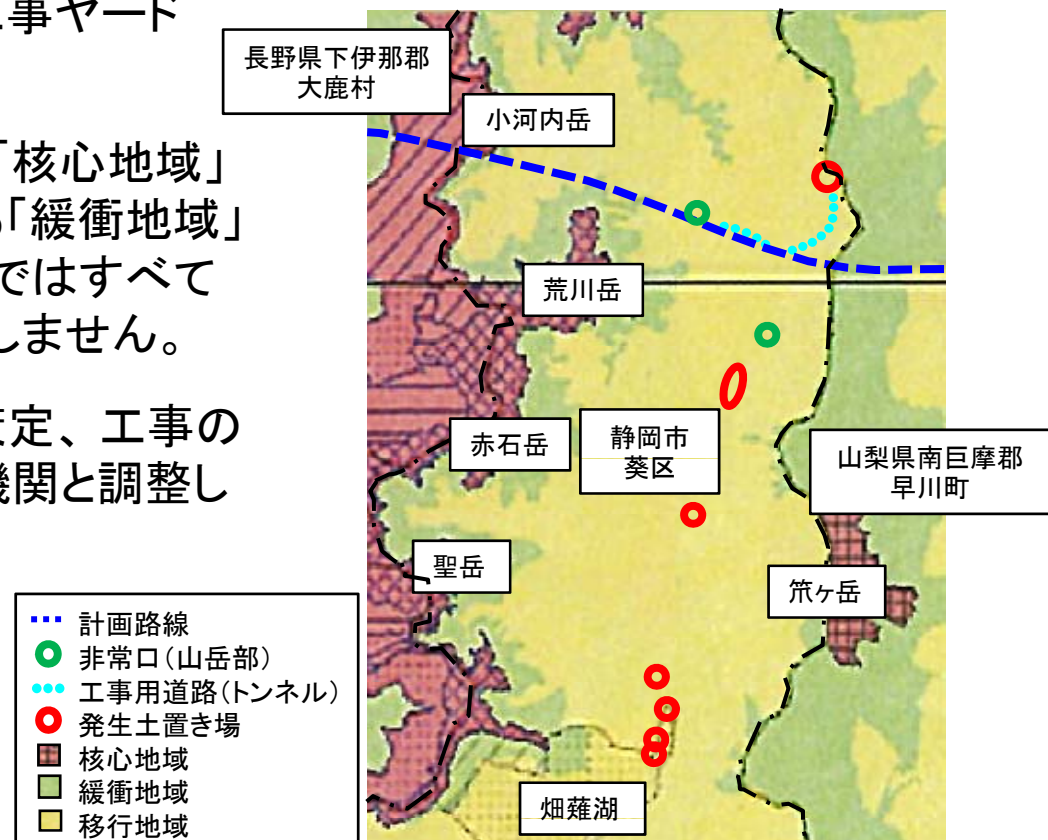
- 静岡県内には、発生土置き場を燕沢(つばくろさわ)付近等に7箇所計画しています。
- 発生土置き場の位置の選定については、南アルプスの特性を踏まえ、以下の考え方で計画しました。
 - 土地所有者から情報を頂き、過去に伐採が行われた範囲から選定
 - その範囲の中でもできる限り過去に電力会社で使用した工事ヤード跡地や人工林等を選定
 - 工事用車両の運行による影響を低減するため、非常口からできる限り近い箇所を選定



発生土置き場の概要

南アルプスユネスコエコパークへの影響はないのですか。

- 平成25年9月に公表された南アルプスエコパークの計画では、当社が計画している非常口や発生土置き場などは、すべて居住や経済活動が可能な「移行地域」に含まれています。
- 非常口や発生土置き場などは、(過去に伐採された)電力会社が使用した工事ヤード跡地や人工林等を選定しました。
- 路線の一部は厳重に保護される「核心地域」や研究やレジャーなどに利用する「緩衝地域」を通過いたしますが、南アルプスではすべてトンネル構造とし、地表部は改変しません。
- 今後、詳細な設計、施工計画の策定、工事の実施の各局面においても、関係機関と調整しながら、計画していきます。



南アルプスユネスコエコパーク推薦地域

※本図は、静岡市提供による図面に一部加筆したものである

今回の現地調査でヤマトイワナは見つかっていないのですか。また、どのように調査をしたのですか。

- 既往の知見によると、ヤマトイワナは大井川の東俣・西俣の上流部に生息しているとされていますが、今回の調査地点においては確認されませんでした。

〈調査方法・結果など〉

- ・調査については、4季に亘り、投網、タモ網、釣りなどにより適切に実施しています。
- ・土地改変区域から概ね600mの範囲に設定した調査地点において、ヤマトイワナは確認されませんでした。
- ・ヤマトイワナは確認されませんでした。過去に放流されたニッコウイワナとの交雑が進んだいわゆるイワナ類に分類される種については、今回の調査範囲でも確認されています。
- ・繁殖力が強いニッコウイワナとの交雑が進んでいると考えられます。



現地調査で確認されたヤマトイワナとニッコウイワナとの交雑種